

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号（第21号）のトピックス

- ・ 13週(3月28日～4月3日)のインフルエンザ患者報告数は 3,188人、
 定点当り 7.76人（去年同期 定点当り 0.07人）
- ・ 4週から続いていた流行警報が解除される
- ・ 22道県でインフルエンザ定点当り患者報告数10人を超える
- ・ AH1pdm09株の抗インフルエンザ薬耐性遺伝子検査について

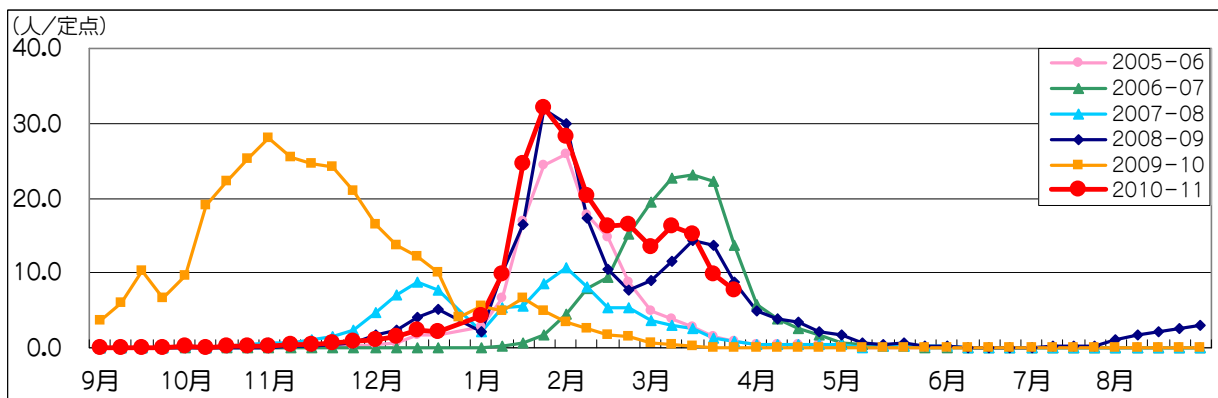


図1. インフルエンザ定点*当り患者報告数の推移（東京都）

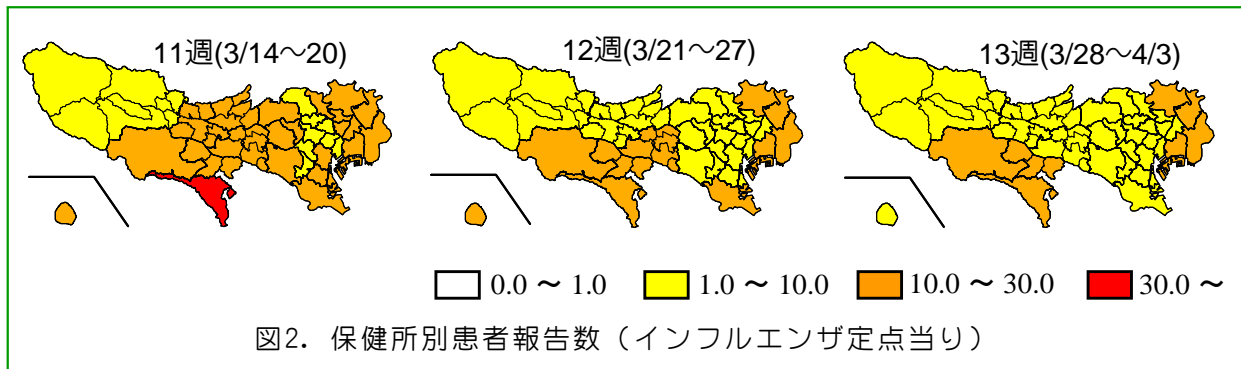


図2. 保健所別患者報告数（インフルエンザ定点当り）

1 インフルエンザ患者発生状況

第13週（3月28日～4月3日）

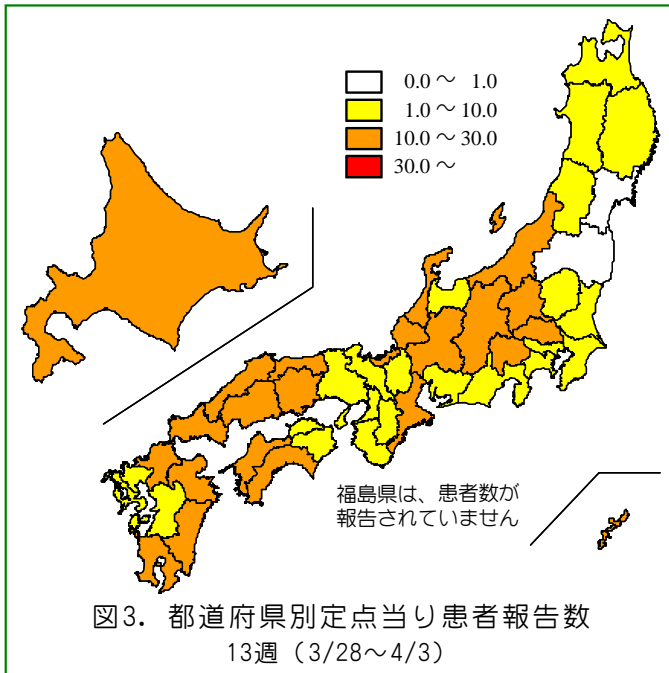
【東京都】インフルエンザ定点*からの患者報告数は3,188人、定点当り7.76人となり、12週（9.73人/定点）の約80%となりました（去年同期0.07人/定点）（図1）。八王子市（16.67人/定点）をはじめとする7保健所管内で定点当りの患者報告数が10人を超えていま

す（図2）。4週から続いていた流行警報が解除されました。

【全国】患者報告数は 48,290人、定点当り 10.02人です。全国は12週（12.33人/定点）の約81%になりました。宮崎県（26.41人/定点）

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点264か所を含む419か所（全国約5,000か所）の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています（1週から定点が増えました）。



をはじめとする22道県では定点当り報告数が10人を超えています。東京(7.76人/定点)の流行規模は、全国で32番目になっています(図3)。

2 インフルエンザ集団感染等発生状況

13週にインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等及び集団事例が4件(内訳; 幼稚園・保育園4)報告されました。13週にはインフルエンザと診断され重症化した患者の報告はありませんでした。

3 東京都の検査情報

感染症発生動向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体から、13週にAH3亜型(A香港型)が3件、B型が3件検出されました(表1、図4)。

10週から13週の直近4週間(3月7日~4月3日)に検出されたウイルスの型別検出割合をみるとAH3亜型が51%と最も多くなっています(図5)。

今シーズン、当センターに搬入された検体から分離されたAH1pdm09**株59株に対して、抗インフルエンザ薬***に対する耐性マーカー遺伝子の解析を行いました。耐性遺伝子を持つ株はありませんでした。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1	AH3	B	AH1pdm09
36-9週(9/6-3/6)	909	369	0	144	29	195
10週(3/7-13)	41	18	0	7	9	2
11週(3/14-20)	24	14	0	7	7	0
12週(3/21-27)	31	26	0	14	12	0
13週(3/28-4/3)	16	6	0	3	3	0
合計			0	175	60	197

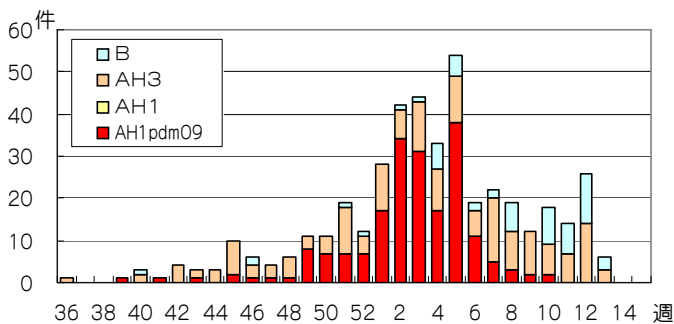


図4. インフルエンザウイルス検出数
(定点医療機関から搬入された検体)

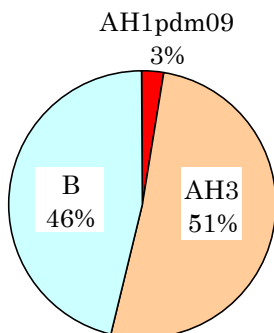


図5. 型別検出割合
直近4週間

(10~13週、センターに搬入された全検体のうち陽性となった69件の内訳)

**：AH1pdm09

2011年4月1日から、新型インフルエンザ(AH1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記をAH1pdm09とします。

***：抗インフルエンザ薬

現在使用されている抗インフルエンザ薬(カッコ内は商品名)：オセルタミビル(タミフル)、ザナミビル(リレンザ)、ペラミビル(ラビアクタ)、ラニナミビル(イナビル)。

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター

微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/